

みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町

第5次

扶桑町総合計画 後期基本計画

〔2023～2027年〕

概要版

令和5年3月
扶 桑 町

計画の策定にあたって

総合計画とは

総合計画とは、中・長期的な視点を持ち、かつ、すべての施策や個別計画を包括し整合性を持ってまちづくりを計画的に進めるための計画です。

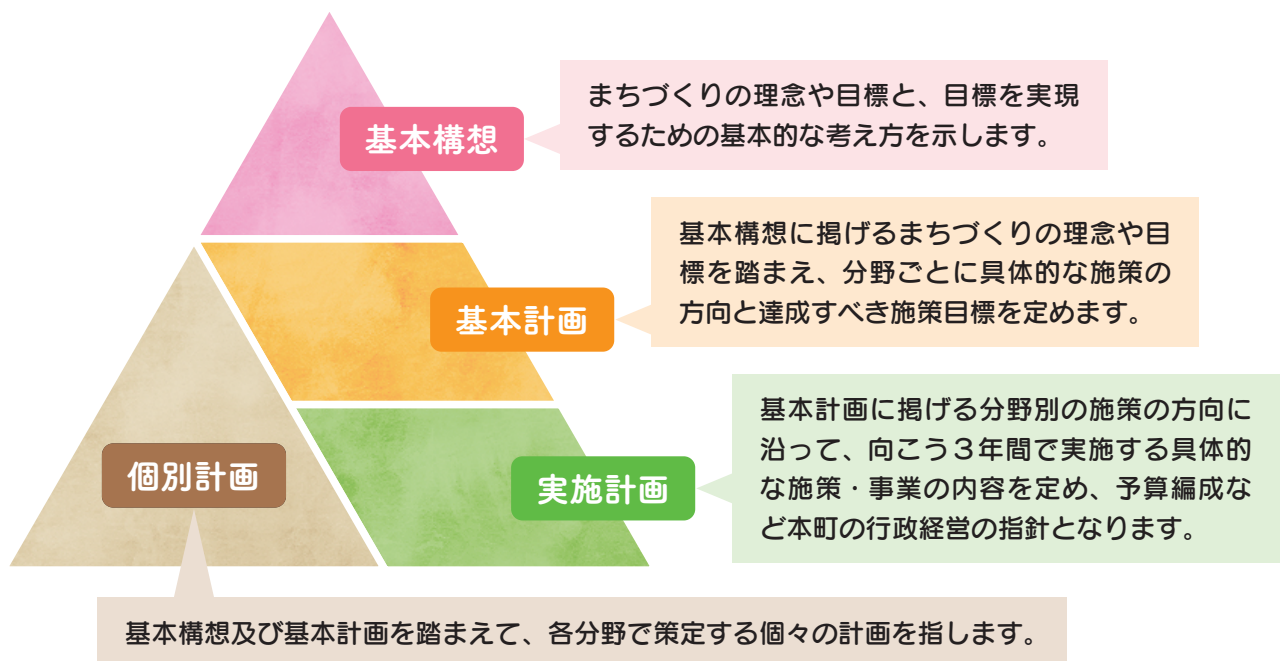
町民みんなが笑顔で幸せに暮らすことができ、次世代に誇りを持って継承できるような扶桑町の実現に向け、町民の皆さんのためのまちづくりの指針となるものです。

計画策定の趣旨

令和5年（2023年）3月に「第5次扶桑町総合計画」の前期基本計画の計画期間が満了を迎えることを受け、今後5年を定める計画として、「第5次扶桑町総合計画後期基本計画（ここ以降は「本計画」といいます）」を策定しました。今後も、これまでの取り組みを継続的に引き継ぎながら、扶桑町を取り巻く状況や多様化する町民ニーズを踏まえた、総合的なまちづくりの取り組みを進めてまいります。

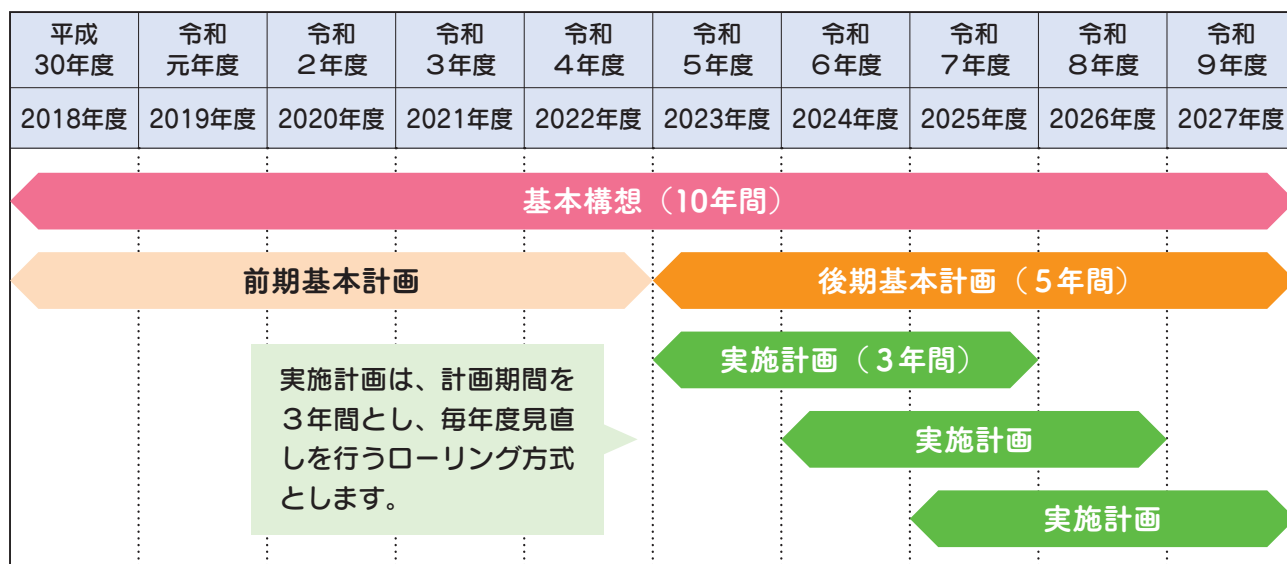
計画の構成

「第5次扶桑町総合計画」は、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成されます。



計画の期間

基本構想の計画期間は、平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の10年間です。本計画については、後期の5年間として、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）を計画期間とします。



【参考：SDGsとは】

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、平成27（2015）年の国連サミットにおいて採択された、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に取り組むための、「誰一人取り残されない」社会の実現に向けた、17の「持続可能な開発目標」です。

本計画では、施策ごとに関連するSDGsを設定しています。



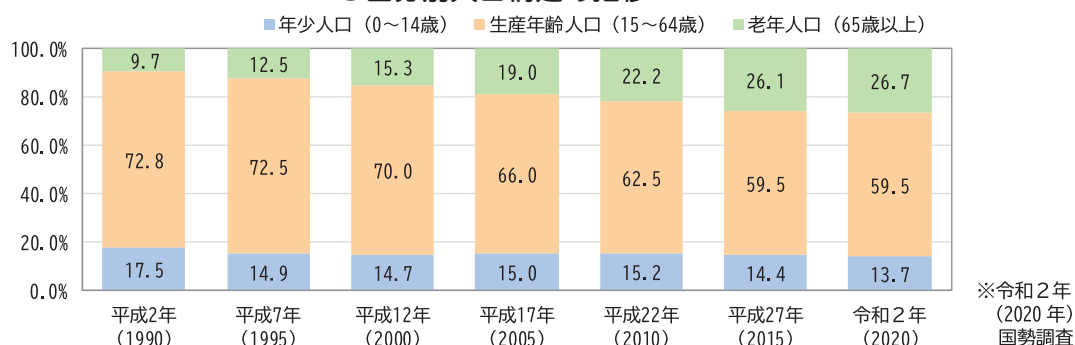
扶桑町の“いま”

各種データからみる扶桑町

少子高齢化の進行がみられます

年少人口比率については増減がみられますが、老年人口比率は一貫して増加、生産年齢人口比率は減少傾向となっています。

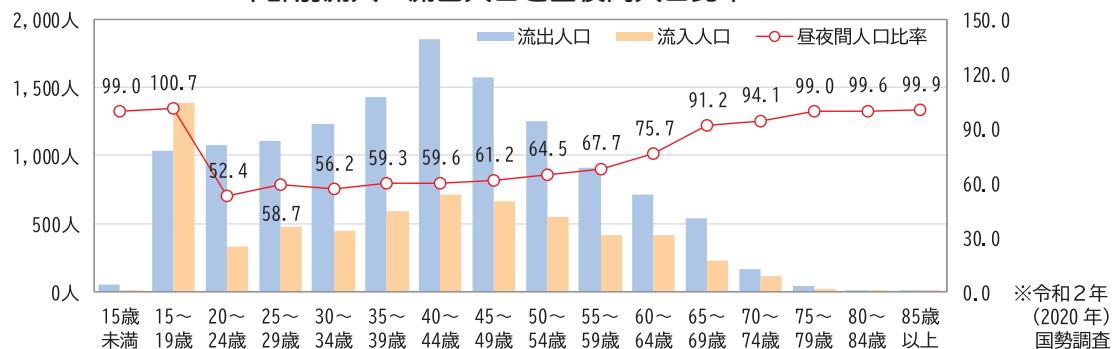
3区分別人口構造の推移



通勤先として扶桑町外を選択する方が多くなっています

昼夜間人口比率をみると、20~44歳では6割以下となっており、若い世代では町外で働いている方も多い状況です。

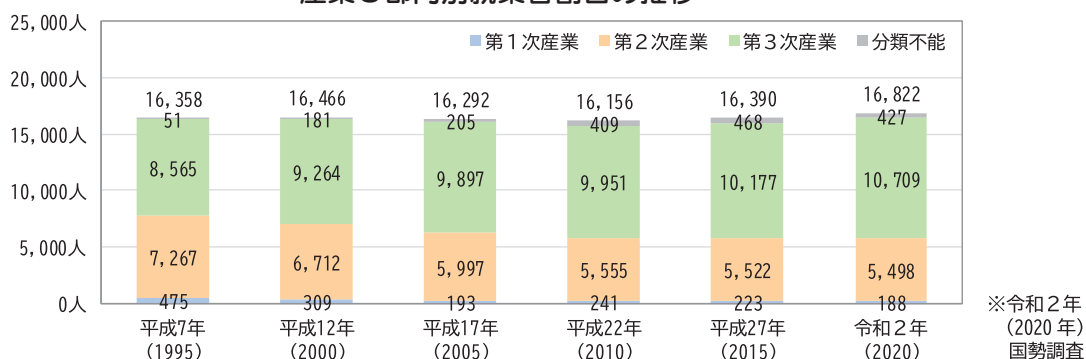
年齢別流入・流出人口と昼夜間人口比率



就業者数は、減少傾向から転じて増加傾向となっています

扶桑町の就業者数は、平成12年（2000年）をピークに減少していましたが、平成27年（2015年）以降に再び増加しています。

産業3部門別就業者割合の推移

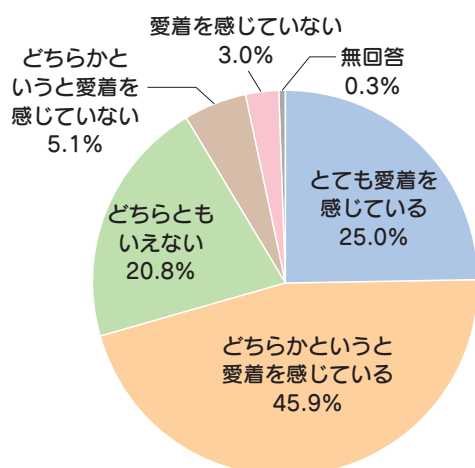


アンケート結果からみる扶桑町

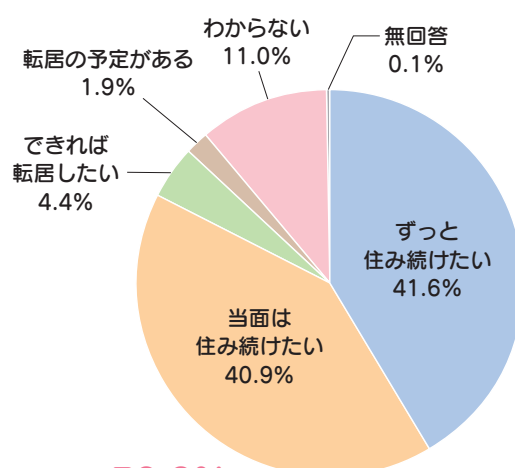
愛着を感じたり、住み続けたいと思っている方が多くなっています

アンケート結果では、まちに愛着を感じている割合は70.9%、住み続けたいと思う割合は82.6%、扶桑町は暮らしやすいと感じている割合は76.2%となっています。

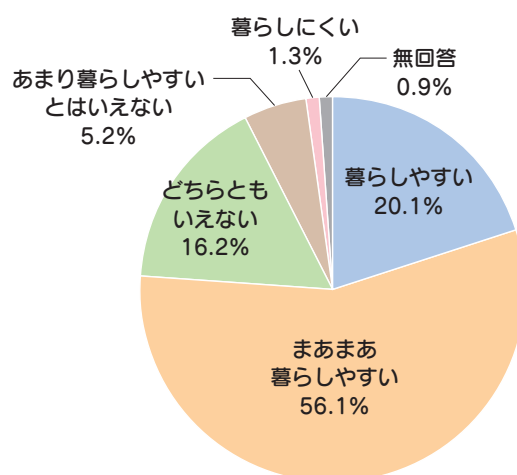
まちに愛着を感じている割合 **70.9%**



住み続けたい割合 **82.6%**



暮らしやすいと感じている割合 **76.2%**



子育て支援や高齢者福祉が重要な施策と考えられています

49歳以下では「子育て支援」が、50歳以上では「高齢者福祉」が、これからのまちづくりで重要な施策として多くの方から選択されています。

これからのまちづくりで重要な施策

年代	1位	2位	3位
18～29歳	子育て支援	学校教育	道路・公共交通
30～49歳	子育て支援	学校教育	交通安全・防犯
50～64歳	高齢者福祉	子育て支援	社会福祉
65歳以上	高齢者福祉	子育て支援	道路・公共交通

基本構想

まちづくりの視点

扶桑町では、「第5次扶桑町総合計画」において「みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町」をまちづくりの視点とし、様々な取り組みを進めてきました。

本計画においても、「みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町」のまちづくりの視点を踏襲し、子どもから高齢者まで「みんな」が笑顔で過ごせるまちの実現に向けた、協働のまちづくりを推進していきます。



基本目標

本計画では5つの基本目標をもとに取り組みを進めていきます。

まちづくり	基本目標 1 みんなで“支え合う”ほっこり暮らせるまちづくり
	お互いに支え合える環境をつくり、誰もが安心して暮らし、ほっこりとしたやさしさを実感できるまちづくりを目指します。また、多様な立場の人々が触れ合い、支え合えるつながりを醸成します。
	基本目標 2 みんなで“学び育む”次代と豊かな心を育むまちづくり
	住民が学校や家庭、地域などで生涯を通じて知識や経験、豊かな心を育むことができるまちづくりを目指します。また、「文化のまち扶桑」として個人や団体の活動を支援し、「文化の香り高いまち」を醸成します。
行政経営	基本目標 3 みんなで“守る”思いやりのある安全・安心なまちづくり
	地域に愛着を感じ、思いやりの心を持って良好な地域コミュニティを醸成するなかで、防災や防犯への備え、住みやすい生活環境づくりなど、地域が一体となって安全・安心な生活を守ります。
	基本目標 4 みんなで“活かす”住み続けられる・魅力あるまちづくり
行政経営	住民が郷土への誇りを感じながら、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。産業振興も視野に入れ、今ある地域資源を活かした、まちの新たな魅力づくりを進めます。
	基本目標 5 みんなで“創る”ともに支える自立した行政経営
行政経営	効果的な財源利用と新たな発想・工夫で行財政運営の手腕を磨き、住民と行政がお互いに尊重し協力しながら、自立した健全な行政経営を実践します。

施策

本計画では5つの基本目標をもとにした、25の施策を進めていきます。

基本目標1

- 〔施策1〕 子育て支援
- 〔施策2〕 健康づくり
- 〔施策3〕 高齢者福祉
- 〔施策4〕 障害者（児）福祉
- 〔施策5〕 社会保障

基本目標2

- 〔施策6〕 学校教育
- 〔施策7〕 家庭教育・青少年育成
- 〔施策8〕 生涯学習
- 〔施策9〕 文化・芸術
- 〔施策10〕 男女共同参画

基本目標3

- 〔施策11〕 環境保全・循環型社会
- 〔施策12〕 防災
- 〔施策13〕 交通安全・防犯
- 〔施策14〕 住環境
- 〔施策15〕 コミュニティ

基本目標4

- 〔施策16〕 公園緑地・景観
- 〔施策17〕 道路・公共交通
- 〔施策18〕 下水道
- 〔施策19〕 公共施設
- 〔施策20〕 農業
- 〔施策21〕 商工業・労働

基本目標5

- 〔施策22〕 協働のまちづくり
- 〔施策23〕 情報共有
- 〔施策24〕 行財政運営
- 〔施策25〕 職員の意識改革

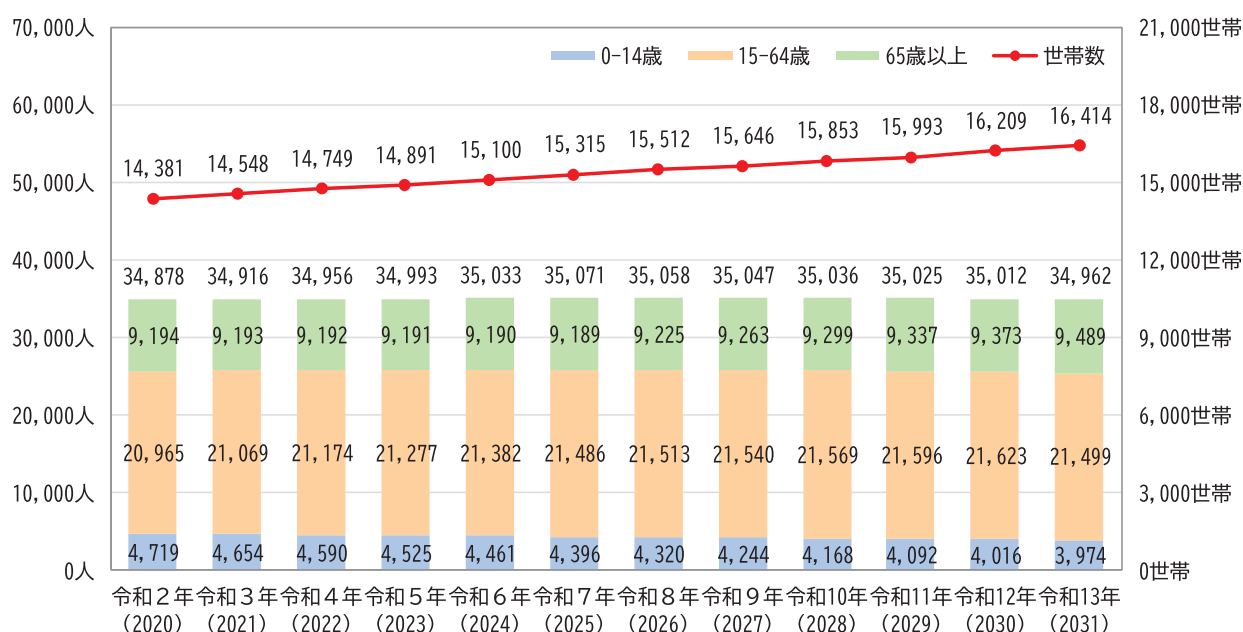
計画フレーム

将来のまちの姿をあらわす目安となる計画フレームを設定します。

人口・世帯

令和9年（2027年）の人口を約**35,000**人、世帯数を約**15,600**世帯と見込みます。
人口構成は、年少人口12.11%、生産年齢人口61.46%、老年人口26.43%と見込みます。

人口・世帯数推計

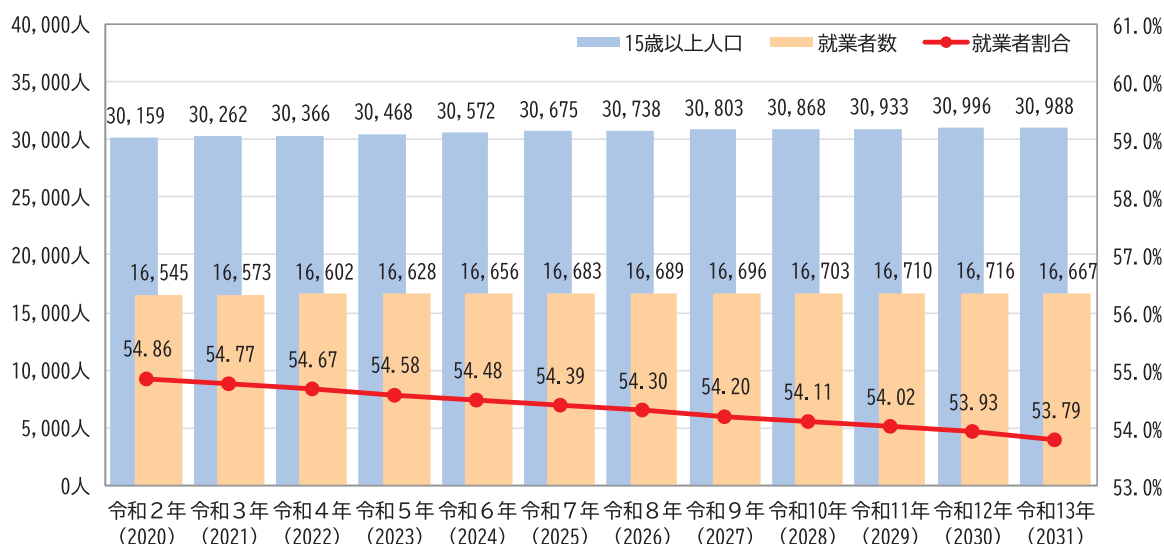


※住民基本台帳のデータを用い、コーホート要因法にて推計（扶桑町の独自推計）

就業者数

令和9年（2027年）の就業者数を、**16,696**人と見込みます。

就業者数推計



※住民基本台帳のデータを用い、コーホート要因法にて推計（扶桑町の独自推計）

土地利用構想

現在は人口増となっている扶桑町ですが、長期的視点でみると、人口は減少に転ずると見込まれています。今後も、誰もが快適に暮らせるより有効なまちづくりを行うため、以下の将来都市構想図をもとにした土地利用を推進します。

【将来都市構想図】



凡 例					
	中心拠点		市街地ゾーン		広域連携軸
	地域拠点		集落ゾーン		生活サービス軸
	文化交流拠点		産業流通ゾーン		
	健康福祉交流拠点		自然環境保全ゾーン		
	緑のふれあい交流拠点				

基本計画

基本計画のポイント（リーディングプラン）

本計画において、現在の情勢等をふまえ、今後5年間で重点的・優先的に取り組む新たな「リーディングプラン」を掲げます。また、「リーディングプラン プラス」として、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策についても、しっかりと実施してまいります。

基本計画に示す25の施策

リーディングプラン：特に重点的・優先的に取り組む事業

新たな課題に向けた施策

DX（デジタルトランスフォーメーション）

- 情報システムの標準化
- 行政手続のオンライン化
- デジタルデバイド（情報格差）解消に向けた施策の推進

関連施策 ▶ 施策23 情報共有

カーボンニュートラル（脱炭素社会）

- 公用車のEV化・HV化
- カーボンニュートラルの実現に向けた施策の推進

関連施策 ▶ 施策11 環境保全・循環型社会

安定した財政運営の実現

企業支援

- 企業・創業者への支援
- 立地希望企業の誘致

関連施策 ▶ 施策21 商工業・労働

安全・安心なまちづくり

防災・減災対策

- 避難所設備の充実
- 防災意識の高揚

関連施策 ▶ 施策12 防災

リーディングプラン プラス

新型コロナウイルス感染症対策

- 感染状況に応じた施策の実施
- ワクチン接種の推進

分野別計画

基本目標1

みんなで“支え合う”～ほっこり暮らせるまちづくり～

施策1 子育て支援			
関連SDGs	施策	めざそう値	
 	1-1 子育て支援の充実	放課後児童クラブの満足度	
	1-2 保育及び幼児期の教育の充実	現状値	R9
	1-3 子どもの居場所づくり	-	90%
施策2 健康づくり			
関連SDGs	施策	めざそう値	
	2-1 健康の保持・増進	がん検診受診率	
	2-2 疾病予防対策	現状値	R9
	2-3 地域医療体制の充実	10.7%	13%
施策3 高齢者福祉			
関連SDGs	施策	めざそう値	
	3-1 在宅福祉サービス	認知症サポーター養成講座受講者数	
	3-2 施設福祉サービス	現状値	R9
	3-3 相談・支援	3,572人	4,500人
	3-4 社会参加・生きがいづくり	地区宅老（地区サロン）事業の実施	
		現状値	R9
		19か所	25か所
施策4 障害者（児）福祉			
関連SDGs	施策	めざそう値	
 	4-1 意識の高揚と活動支援	福祉施設入所者の地域生活への移行	
	4-2 自立支援と生きがいづくり	現状値	R9
	4-3 障害児への支援	3人	5人
施策5 社会保障			
関連SDGs	施策	めざそう値	
  	5-1 介護保険事業の推進	要介護・要支援認定者の割合	
	5-2 国民健康保険・後期高齢者医療	現状値	R9
	5-3 国民年金	16.6%	19.4%
	5-4 低所得者の自立支援	特定健康診査の実施率	
		現状値	R9
		45.8%	55.0%
		後期高齢者健康診査の実施率	
		現状値	R9
		50.5%	60.6%

基本目標2

みんなで“学び育む”～次代と豊かな心を育むまちづくり～

施策6 学校教育

関連SDGs	施策	めざそう値
	6-1 教育環境の整備 6-2 学校保健・学校給食の充実 6-3 教育内容の充実 6-4 児童・生徒への支援の充実	小中学校校舎非構造部材の改修
		現状値 R9
		2校 6校
		学校運営協働協議会と地域学校協働活動本部の連携活動
		現状値 R9
		連携数：29 

施策7 家庭教育・青少年育成

関連SDGs	施策
 	7-1 青少年の健全育成 7-2 家庭教育の充実

施策8 生涯学習

関連SDGs	施策	めざそう値
 	8-1 生涯学習機会の充実 8-2 スポーツの普及促進・推進体制の充実 8-3 生涯学習施設等の充実 8-4 図書館の充実	文化団体の育成
		現状値 R9
		30団体 33団体
		図書貸出点数
		現状値 R9
		257,863点 380,000点
		スポーツ団体の育成
		現状値 R9
		943人 1,000人
		総合型地域スポーツクラブの会員数
		現状値 R9
		810人 900人

施策9 文化・芸術

関連SDGs	施策	めざそう値
	9-1 次世代へつなぐ文化の創造 9-2 地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり 9-3 文化・芸術活動への支援体制 9-4 文化財の保護と活用	扶桑文化会館でボランティアに携わる人数
		現状値 R9
		30人 35人

施策10 男女共同参画

関連SDGs	施策	めざそう値
 	10-1 男女共同参画の推進 10-2 人権教育・啓発の推進	委員会等の女性登用状況
		現状値 R9
		29.1% 30.0%

基本目標3

みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～

施策11 環境保全・循環型社会

関連SDGs	施策	めざそう値
     	11-1 地球環境保護 11-2 住民協働による生活環境の美化 11-3 環境リスク対策の推進 11-4 ごみの減量化・資源化 11-5 新ごみ処理施設の整備 11-6 し尿・浄化槽汚泥の処理	アダプトプログラム参加団体数
		現状値 R9
		29団体 30団体
		一人1日あたりの家庭系ごみ排出量 (資源ごみを除く)
		現状値 R9
		440g
		合併処理浄化槽設置数
		現状値 R9
		267基 450基

施策12 防災

関連SDGs	施策	めざそう値
	12-1 防災・減災対策の充実 12-2 地域防災力の向上 12-3 非常備消防体制の充実 12-4 国民保護体制の充実 12-5 浸水対策の充実	地域防災リーダー養成講座受講者数
		現状値 R9
		63人 113人
		木造住宅耐震改修実施棟数
		現状値 R9
		117棟 125棟

施策13 交通安全・防犯

関連SDGs	施策	めざそう値
	13-1 交通安全・防犯意識の高揚 13-2 交通安全・防犯施設の整備 13-3 地域の交通安全・防犯活動の支援 13-4 交通安全・防犯情報の提供	交通人身事故の削減
		現状値 R9
		102件
		街頭犯罪の削減
		現状値 R9
		154件

施策14 住環境

関連SDGs	施策	めざそう値
 	14-1 計画的な土地利用と良好な市街地形成 14-2 空き家対策と有効活用 14-3 人にやさしい街づくり	公共施設のバリアフリー化数
		現状値 R9
		322か所 327か所

施策15 コミュニティ

関連SDGs	施策
 	15-1 地域自治・コミュニティ活動の推進
	15-2 多文化共生の推進

基本目標 4

みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～

施策16 公園緑地・景観

関連SDGs	施策	めざそう値	
  	16-1 公園・緑地の整備・管理	一人あたりの整備済み公園面積	
	16-2 緑化の推進・緑地の保全	現状値	R9
	16-3 自然環境・景観の保全	5.2㎡/人	

施策17 道路・公共交通

関連SDGs	施策	めざそう値	
	17-1 幹線道路の整備	町道側溝整備延長	
	17-2 公共交通の充実	現状値	R9
		2,849m	7,000m

施策18 下水道

関連SDGs	施策	めざそう値	
 	18-1 公共下水道事業の健全な経営	公共下水道整備率	
	18-2 公共下水道（汚水）の整備	現状値	R9
		39.8%	74.3%

施策19 公共施設

関連SDGs	施策	めざそう値	
	19-1 公共施設の最適化	長寿命化計画の策定・見直しをする公共施設の数	
	19-2 適正な維持管理と長寿命化の推進	現状値	R9
		44施設	45施設

施策20 農業

関連SDGs	施策	めざそう値	
  	20-1 農地の保全・農業生産基盤の整備	認定農業者数	
	20-2 農業経営の安定化	現状値	R9
	20-3 農業体験の充実	9経営体	
		認定農業者による農用地利用集積面積	
		現状値	R9
		61ha	

施策21 商工業・労働

関連SDGs	施策	めざそう値	
 	21-1 商工業経営基盤の強化・充実	創業者数	
	21-2 企業活動、商店街活動等の支援	現状値	R9
	21-3 企業誘致と起業・創業支援	2事業者	5事業者
	21-4 雇用機会の充実	就職フェア参加企業数	
	21-5 消費者行政の推進	現状値	R9
		28社	30社
		就職フェア参加求職者数	
		現状値	R9
		45人	100人

基本目標5

みんなで“創る”～ともに支える自立した行政経営～

施策22 協働のまちづくり

関連SDGs	施策	めざそう値	
	22-1 協働のまちづくり活動の推進 22-2 まちづくりネットワークの推進	町民の意見の反映状況	
		現状値	R9
		18.0%	20.4%
		住民活動団体登録数	
		現状値	R9
		63団体	70団体

施策23 情報共有

関連SDGs	施策	めざそう値	
 	23-1 情報公開の推進 23-2 広報・広聴活動の充実 23-3 情報化に対応したまちづくり 23-4 情報セキュリティ対策の強化	ひまわりあんしん情報メールの登録件数	
		現状値	R9
		5,425件	6,500件

施策24 行財政運営

関連SDGs	施策	めざそう値	
 	24-1 分権時代にふさわしい行財政運営 24-2 民間活力（担い手）の導入による効率化 24-3 安定的な財源の確保	経常収支比率	
		現状値	R9
		84.1%	
		町税収納率	
		現状値	R9
		99.3%	

施策25 職員の意識改革

関連SDGs	施策	めざそう値	
	25-1 職員の意識・意欲の高揚 25-2 専門性の高い人材の育成・採用 25-3 人事制度の充実	職場外研修受講者数	
		現状値	R9
		80人	

計画の管理と推進

庁内の計画推進体制

計画の推進状況を適宜確認するため、施策評価シートを用いて事業の進捗チェックや管理体制の評価などを行います。また、わかりやすく透明性の高い進捗管理を行うため、目標指標を「めざそう値」として設定します。

「めざそう値」は、内容によっては「ストレッチ目標（下記参照）」とし、時代の潮流に合わせて適正に見直すなど、柔軟に対応していきます。

基本目標ごとに定めた施策を計画的に推進するため、担当課をはじめとする関係各課が責任を持って町民や関係団体と情報共有に努めつつ、広報紙やホームページを活用し、幅広く意見を聴く機会を設けることで「協働のまちづくり」を推進し、「めざそう値」の達成に向けて取り組みます。

「目標の設定について」

本計画の一部の数値目標は「ストレッチ目標」として、具体的な数値の代わりに矢印を用いて方針を示しています。

	現状の数値よりも 増加・上昇
	現状の数値よりも 減少・下降
	現状の数値を 維持

町全体となって取り組む計画推進体制

計画の推進に向けては、町民をはじめ、地域コミュニティ、町内で活動する企業・事業所、関係団体が行政と協働で取り組むことが重要です。このため、計画の推進に向けた住民参画の場を機会あるごとに設け、「協働のまちづくり」を推進するとともに、「住民の皆様も一緒に！～協働のまちづくりに向けて～」で示す協働で取り組みを行いやすい環境づくりを進めます。

PDCAサイクルに基づく進行管理体制

策定した計画（「Plan（計画）」）に基づき、毎年、各事業の進捗状況や目標指標の実績値を把握し、「めざそう値」を活用した施策評価に取り組みます。

また、「Do（実行）」を行い、その後「Check（評価）」に取り掛かるにあたっては、事業をそのまま継続すべきかどうかの見直しを行い、必要に応じて修正等（Action（改善））を行い、PDCAサイクルに基づく効率的・効果的な行財政運営をいっそう推進します。



第5次扶桑町総合計画 後期基本計画 概要版

発行 令和5年3月

編集 扶桑町 総務部 政策調整課

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL 0587-93-1111 FAX 0587-93-2034